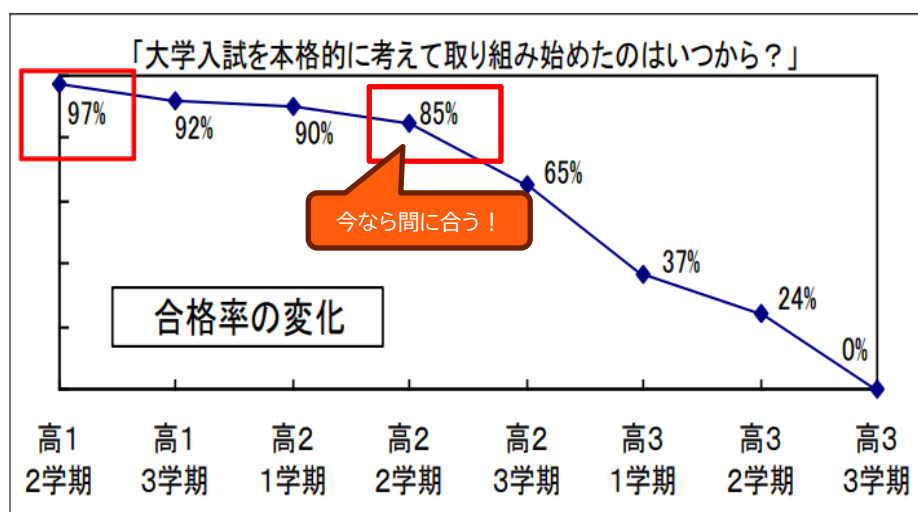


ベネッセコーポレーション調べ

4年制大学第一志望合格率の変化



静岡県立小山高等学校

令和6年9月6日（金）発行

高2年2学期は人生を変える。授業と家庭学習の充実が来年の笑顔を生む。

高2年2学期からスタートすれば未来は明るい

目標を立て、計画に沿って、継続して学習することで、自分自身の未来を切り拓く！

2年2学期から始めれば、85%の合格率

全国の高校生がやらないからこそ、ライバルと差がつく2年2学期。弱い自分に勝ち、行動。

ここで始めるかどうか、合格を決める

昨年10月にベネッセコーポレーションの三船様から講演をしていただいたことを覚えているでしょうか？その時に使用された「衝撃的な」データが上のグラフでした。ベネッセが、過去数十年にもわたり、ほぼすべての日本の高校生に関するデータを用いて作成したグラフですので、その内容には信頼性があります。このグラフを見ると、高校2年生から進路希望に向けて学習を本格的に始めれば、第一志望の合格率が85%となっています。これは、2学期をスタートさせたばかりのみなさんにとっては「朗報」です。これから、第一志望に向けて、対策を練って、計画を立てて、継続して勉強すればよいのですから。一方で、2年3学期に学習を始めるとすると、合格率は65%にまで落ちます。この4カ月で、20%も合格率が下がってしまうのです。データは重要です。データの上に解釈が成り立つからです。

なぜ、9～12月の4カ月で20%も合格率が下がってしまうのか、考えてみましょう。全国的に、高校生たちは修学旅行明けの2年生の冬休みから本格的に勉強をスタートさせます。学習時間を増やしたり、過去問題を解いたり、苦手分野に取り組んだりします。だいたいどの高校でも、2年3学期を「3年0学期」と位置付けて、本格的な勉強を始めさせます。つまり、日本中の高校生は、冬休みから進路に向けて、行動し始めるのです。

つまり、みんなで一斉に「よーい、ドン」でスタートすると、もともと頭のいい生徒が受験でも勝ちます。さらに、そのレースも「あとちょっとの僅差」で勝ったり、負けたりするようなレースになります。ほんの一瞬の遅れや気のゆるみが「負け」につながってしまうのです。つまり、2年冬休みから本格的に勉強を始めると、ライバルと差をつけることができず、ギリギリの受験になってしまい、結局不合格ということになってしまうのです。全国の高校生と同じタイミングで受験勉強を始めると、僅差の勝負になってしまうので、合格率が下がると言えそうです。

それでは、小山高生はどうやって、このレースを勝ち残ればよいのでしょうか？話はむずかしくありません。レースに「フライング」をするのです。受験というレースは、陸上競技とは違って「フライング」が許されています。むしろ「フライング大歓迎」です。周りの選手を気にせず、どんどんスタートすればいいのです。早くスタートすれば、「ギリギリ僅差で」ゴールすることはありません。余裕をもってスタートするどころか、目標（ステージ）を一つ上に設定することもできます。

みなさん2年生は、どんどんスタートしましょう！

進路に関する Q & A

Q：総合型選抜や学校推薦型選抜で受験することを考えています。今、何をしたらよいですか？

A：1年生の時から何度も言っていますが、「他の多くの高校生がしない」経験をしてください。そして、総合型選抜や学校推薦型選抜でアピールできるようにしてください。大学のセミナー、学校外のプロジェクト、インターンに参加して、そこから何を学んだのか、自分がどのように変わったのか、説明できるようにしてください。こうした経験をやる最後のチャンスが、2年生2学期です。**自分から積極的に学ぶ姿勢が、大学などから高く評価されます。**また、四年制大学に総合型・推薦型で受験する生徒は、「英検2級」は必ず取得しておいてください。

Q：就職か専門学校かで迷っています。どちらがよいでしょうか？

A：迷っているのであれば、専門学校にしてください。**就職は「お金をいただく立場」になる**ということです。中途半端な気持ちでは不可能ですし、万が一内定をいただいたとしても、企業や団体にもご迷惑をおかけすることになります。よくご家庭の都合もあるのか「〇〇か、就職」という発言をする生徒がいますが、就職をするということは、進学よりも責任のあることだと受け止めてください。なお、企業の中には欠席日数を気にするところもあります。

Q：なぜ、先生方は偏差値の高い大学を勧めるのでしょうか？自分の行きたい大学ではだめでしょうか？

A：「偏差値の高い大学」というのは、過去の受験生の動向からみて、模試結果等でランク付けされた大学の上位校を指すと思います。大学に付された偏差値は、長年の受験データの積み重ねの上で、**文化や社会全体で作られた評価の一部**です。現在の日本の社会は概ねこのように見えていますよという指標でもあります。ただし、あくまでも評価の一部であり、大学の強みや研究力、教員の教育力や学生の質を示しているわけではありません。

とは言え、「**偏差値の高い大学**」は、**勉強を一生懸命やってきた学生が集まるので、大学にも活気があります。**学術研究や部活動・サークル活動、就職活動から遊び方までレベルが高いです。そのような成長の雰囲気です。4年間を過ごしますので、企業も高く評価します。エントリーシートで、「フィルター」が設けられているのは、そのような意味においてです。努力して入る大学です。活気にあふれ人生を豊かにする大学を目指しましょう。

Q：やりたいことが見つかりません。大学か、専門学校で迷っています。

A：やりたいことが見つからないのであれば、大学を勧めます。よく保護者から「やりたいことがはっきりしないのに、授業料は払えない」という意見をいただきますが、それは違います。「**やりたいことを見つけるために、お金を払う場**」が大学です。一方、専門学校とは、やりたいことが明確で「専門」にそのことだけを学ぶ場です。そう考えると、①就職②専門学校③大学の順に、進路意識は強く持つ必要があるとも言えます。大学は、ある意味では「入ってから何で勝負するか考えられる」からこそ、自分に成長の機会を豊かに与えてくれるような大学の方がよいのです。

Q：国公立大学にどうしても入りたいのですが、入れますか？

A：入れるかどうかは自分次第です。**目標を立て、計画に沿って、継続的に学習**すれば必ず入れます。

トビタテ留学 JAPAN！

鈴木天華さん、平山佳誉さんの2人が
文科省主催「トビタテ留学 JAPAN！」
に合格し、7月後半の3週間、ニュージー
ランドに留学しました。
現地では、ジェンダー意識の調査を行い、
今後はそのデータを分析する予定です。



1学期成績優秀者

臼井悠喜さん 長田幸太郎さん 小野優音さん
勝亦紗良さん 勝又梨紗さん 後藤柚奈さん
鈴木天華さん 妹尾順華さん 山口凛さん
土屋蓮さん 平山佳誉さん 森田悠里さん
余田綾香さん 鈴美美羽さん 瀬戸ひよりさん
林心美さん 山口加絵さん 勝間田梨那さん

◎2年生で優秀者になった生徒もいます。成長の証です。2学期も多くの生徒が成績を向上させたいですね！